

## 羽田沖浅場で生まれたカサゴ稚魚・・・

毎月1回、羽田沖浅場周辺海域で各種漁具による魚介類調査を行っていますが、5月と6月の貝桁網調査でカサゴの稚魚を採捕しました。大きさは5月が体長4.5cmの1尾、6月が体長4.7cmと7cmの2尾です。

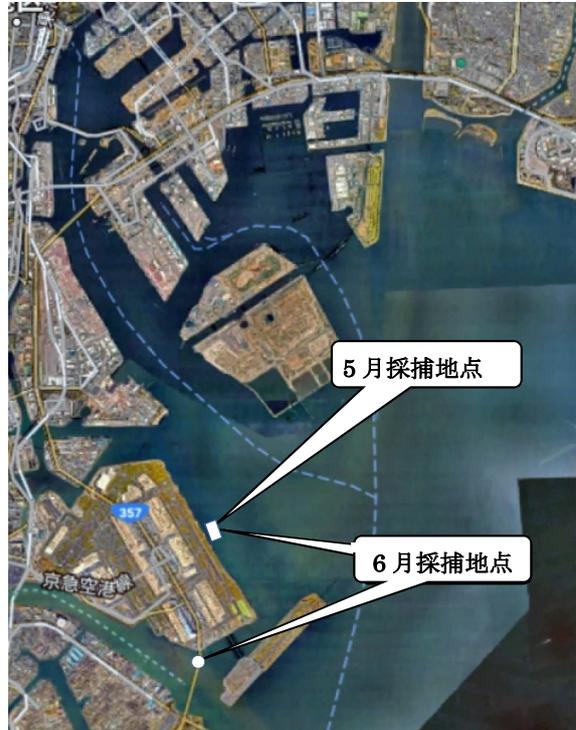
当協会では平成7年から毎年2万尾のカサゴ稚魚を放流してきましたが、放流時期はいずれも7～9月で大きさは体長5～8cmです。

カサゴの成長は1年で体長約6cm、2年で12cm、満3歳で18cm程度となり成熟し、秋から春までに数回に分け産仔(卵胎生)します。今回の稚魚は大きさから推察して昨年9月に放流した稚魚(全長5.2～6.3cm)ではなく、羽田沖浅場で昨年生まれた当歳魚の可能性あります。この時期のこの大きさのカサゴ稚魚の採捕は当協会の調査では初めてとなります。

放流してきたカサゴの子供(稚魚)ではないかと期待しています。ちなみに今年も2万尾の稚魚の放流を行う予定です。



平成29年9月の放流稚魚(全長5.2～6.3cm)



6月に採捕された稚魚(体長4.7cm)